

県営都市公園マネジメント基本方針(原案)の位置づけ

資料-1

滋賀県基本構想

- ・人 自分らしい未来を描ける生き方
- ・経済 未来を拓く 新たな価値を生み出す産業
- ・社会 未来を支える 多様な社会基盤
- ・環境 未来につなげる 豊かな自然の恵み

都市公園におけるニーズの多様化
健康運動の場、レクリエーションの拠点、カフェやイベント等の賑わいのための空間、地域活動の拠点など

都市公園における現状と課題
多様性・自由性の担保、環境保全への貢献、災害への対応、施設の老朽化への対応など

都市公園法改正 (Park-PFI、協議会制度)

みどりとみずべの将来ビジョンの策定

具体化

滋賀県営都市公園マネジメント基本方針

～多様な主体と共に育む、緑と賑わいあふれる湖国の都市公園～

県営都市公園が担うべき役割・機能

1. 利用の多様性が担保された公園
2. 活力ある地域づくりに資する公園
3. 環境との共生に資する公園
4. 災害・危機に強い公園

県営都市公園の施策展開の方向性

- I. 「つくる」から「つかう」への転換
- II. 効率的かつ効果的な施策展開
- III. 民間活力導入・多様な主体との連携

策定後

公園ごとのマネジメント方針を検討

公園の活性化や賑わい創出等の推進方策を取りまとめ、具体的な取り組みを進める。

湖岸緑地

春日山公園

尾花川公園

びわこ文化公園

びわこ地球市民の森

奥びわスポーツの森

施策例

- ・公募設置管理制度 (Park-PFI) の活用
- ・都市公園の整備や利活用のための社会実験の実施
- ・長寿命化計画に基づいた再整備・維持補修の実施

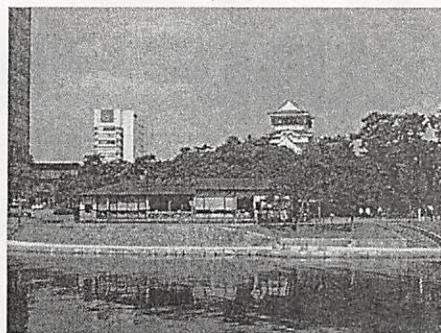
など

〈参考〉 Park-PFI の概要

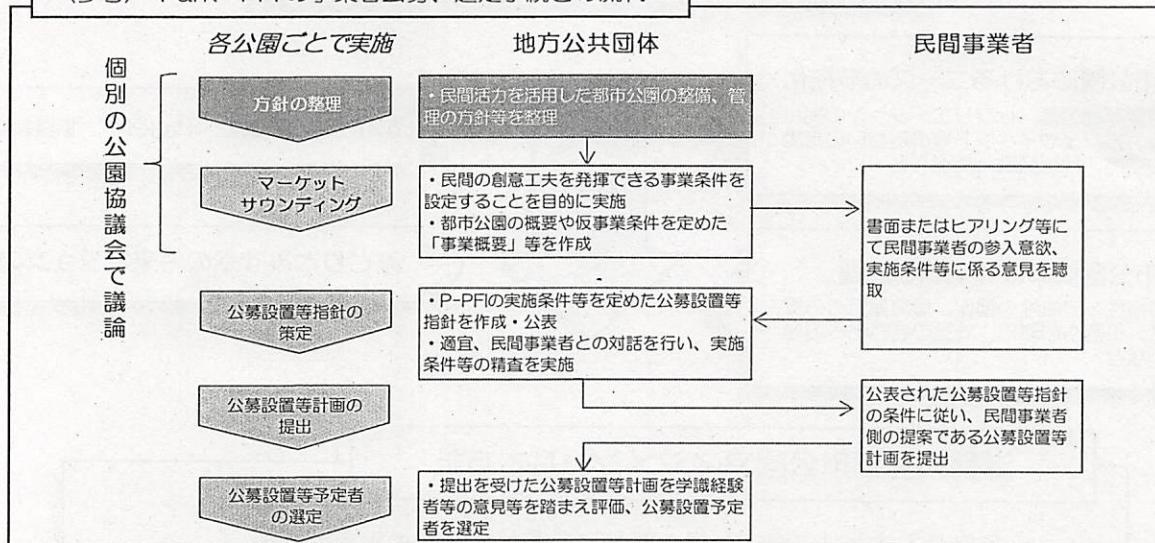
飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する施設（公募対象公園施設）の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等（特定公園施設）の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。

事例：北九州市 勝山公園（カフェ）

小倉城を中心とした公園で、紫川と一緒にした都心部の憩いの場として、多くの市民に親しまれている。



〈参考〉 Park-PFI の事業者公募、選定手続きの流れ



策定までのスケジュール

1. これまでの取組状況

2017年

➢ 6月 都市公園法の改正〔公募設置管理制度（Park-PFI）、公園協議会制度の創設〕

2018年

➢ 9月 常任委員会〔本方針策定開始報告〕

➢ 11月 第1回 滋賀県公園緑地検討協議会〔都市公園の現状と課題の整理〕

2019年

➢ 3月 第2回 滋賀県公園緑地検討協議会〔公園整備・活性化のあり方を整理〕

➢ 3月 常任委員会〔協議会の協議・検討内容の報告、今後のスケジュール報告〕

➢ 9月 第3回 滋賀県公園緑地検討協議会〔骨子案の提示〕

➢ 12月 第4回 滋賀県公園緑地検討協議会〔素案の提示〕

2020年

➢ 1月～3月 民間活力導入に向けた意向調査〔サウンディング：民間事業者対象にヒアリング、アンケートを実施〕

➢ 5月 第5回 滋賀県公園緑地検討協議会〔素案修正版の提示〕

2. 今後のスケジュール

2020年

➢ 8月27日 常任委員会〔原案〕(8月閉会中)

➢ 9月上旬 県民政策コメント〔原案〕

➢ 10月中旬 第6回 滋賀県公園緑地検討協議会〔案、県民政策コメント結果の報告〕

➢ 12月中旬 常任委員会〔最終案報告〕(11月議会)

➢ 12月下旬 本方針策定

県民生活・土木交通通常任委員会資料
平成 30 年(2018 年)9 月 12 日(水)
土木交通部都市計画課

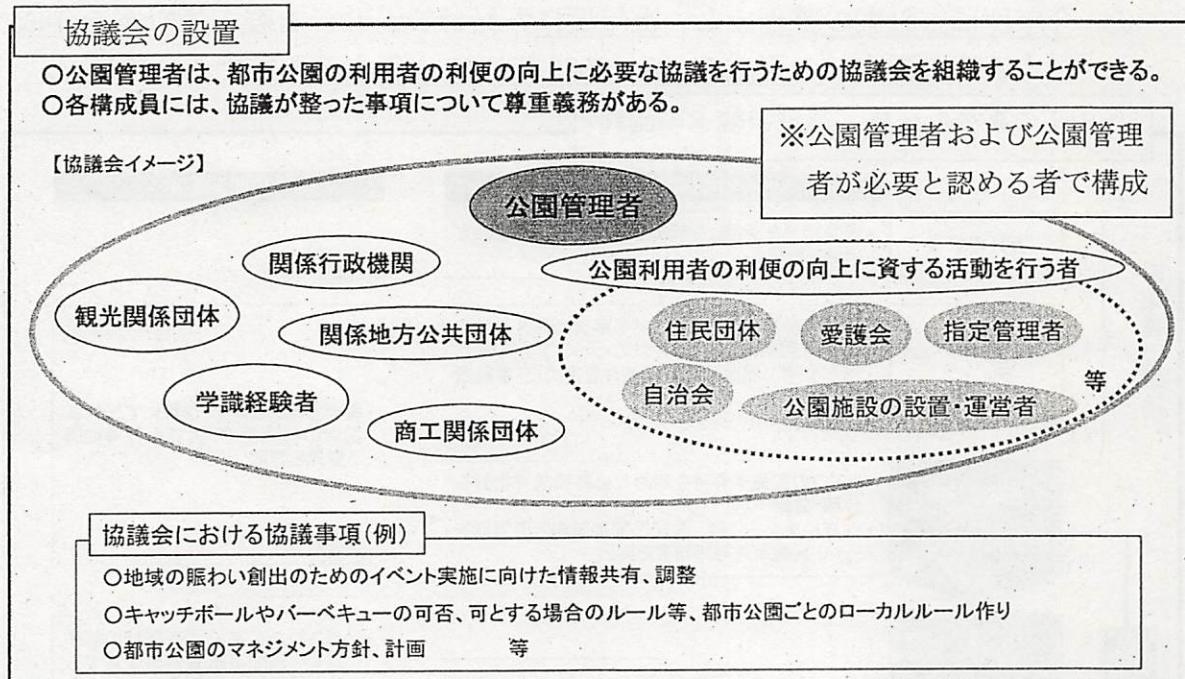
民間活力による都市公園の活性化について

平成 29 年(2017 年)の都市公園法改正により、公募設置管理制度(Park-PFI)および協議会にかかる制度が創設され、さらに都市公園の質の向上と公園利用者の利便性の向上を図る取組が可能となったことから、県営都市公園について以下のとおり進める。

(図等は国の資料から引用)

1 協議会(都市公園法第 17 条の 2)の活用について

1-1 概要



1-2 今後の予定

- ① 県営都市公園全体の事項を協議する全体協議会と各々の公園にかかる事項を協議する個別協議会を 10 月頃に設ける予定で今後準備を進めていく。
- ② 個別協議会については、先ずは、公園管理者が公園敷地の所有権を有し、以前より活性化に向けての意見・要望が多いびわこ文化公園、びわこ地球市民の森および奥びわスポーツの森において進めていく。
- ③ 協議内容は、各公園区域における民間活力導入への取り組み方針、公園マネジメント方針および活動運営方針などを協議していく。
- ④ 特に、公募設置管理制度につながる民間活力導入への取り組み方針については、県政世論調査および県政モニターアンケートも活用して協議を進めていく。

2 公募設置管理制度(Park-PFI 都市公園法第5条の2) の活用について

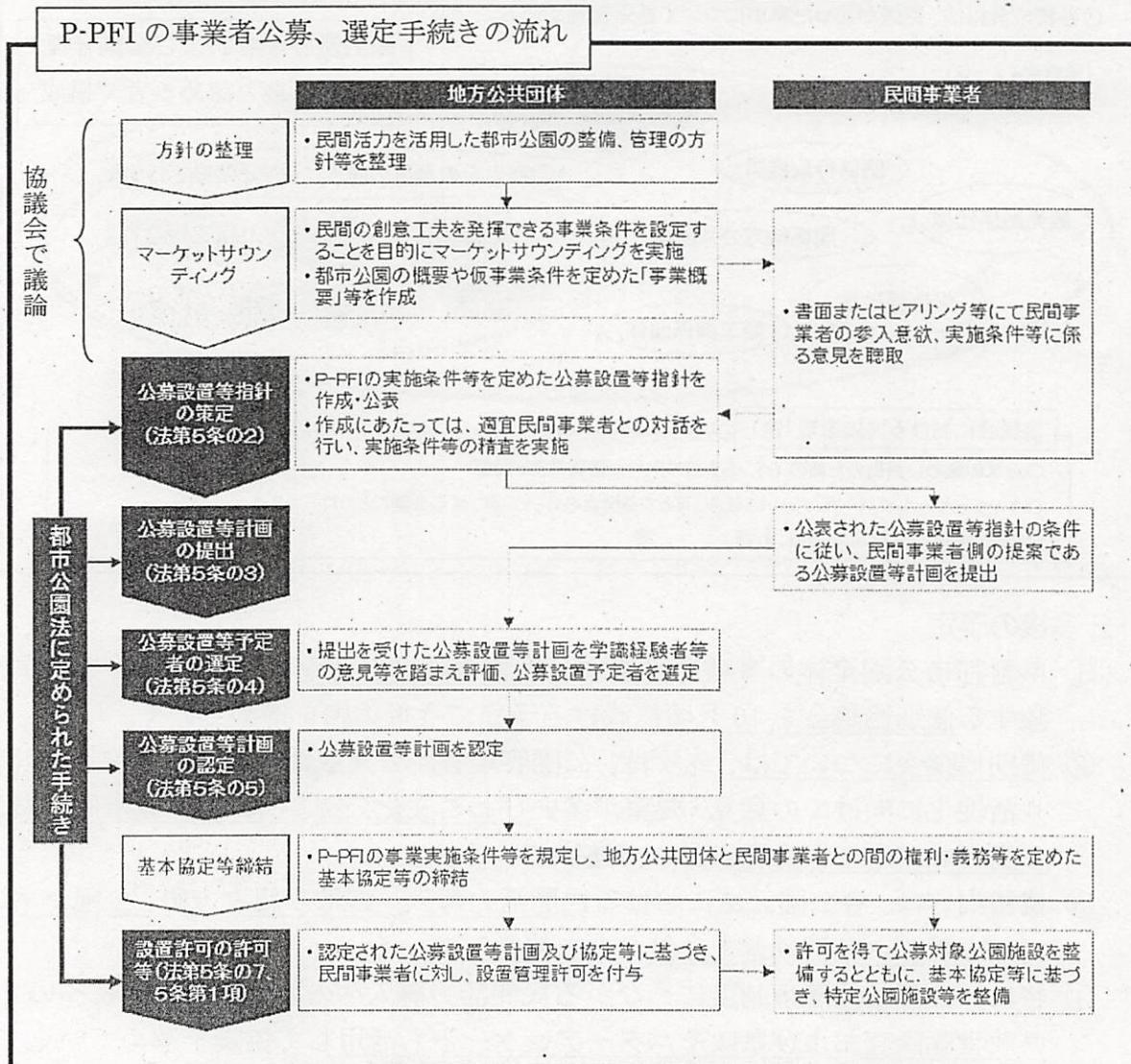
2-1 概要

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公園施設(公募対象公園施設)の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等(特定公園施設)の整備、改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。



2-2 今後の予定

- ① 民間資金の活用による活性化のさらなる推進を目指し、本制度を活用していく。
- ② 湖岸緑地は湖辺の保全・利活用区域の考え方の整理を進めていくことから、先行して個別協議会を設置する3公園での活用に向け進めていく。
- ③ 今年度に方針案の整理をし、次年度にマーケットサウンディングを経て指針案を作成、次期指定管理者選定前の平成32年(2020年)に公募する予定で進めていく。



(参考)

「滋賀県公園緑地検討協議会 全体協議会」委員名簿

部門	所属	備考
学識経験者	滋賀県立大学	環境科学部環境建築デザイン学科
関係行政機関	独立行政法人水資源機構	琵琶湖開発総合管理所
関係行政機関	滋賀県流域政策局	
関係地方公共団体	大津市	
観光関係団体	公益社団法人びわこビッグターミユーロ	
商工関係団体	滋賀県商工会議所連合会	
公園管理者	滋賀県都市計画課	

「滋賀県公園緑地検討協議会 奥びわスポーツの森部会」委員名簿

部門	所属	備考
学識経験者	滋賀県立大学	環境科学部環境建築デザイン学科
関係地方公共団体	長浜市	
観光関係団体	公益社団法人長浜観光協会	
商工関係団体	長浜市商工会	
関係活動団体	湖北ボーグ	
指定管理者	特定非営利活動法人P.P.P. 滋賀	
公園管理者	滋賀県都市計画課	

「滋賀県公園緑地検討協議会 びわこ地球市民の森部会」委員名簿

部門	所属	備考
学識経験者	滋賀県立大学	環境科学部環境建築デザイン学科
関係地方公共団体	守山市	
観光関係団体 商工関係団体	守山商工会議所事務局	
関係活動団体	公園体制代表	
自治会	速野学区	
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株) 森づくりセンター	
公園管理者	滋賀県都市計画課	

「滋賀県公園緑地検討協議会 びわこ文化公園部会」委員名簿

部門	所属	備考
学識経験者	立命館大学	理工学部建築都市デザイン学科
関係行政機関	滋賀県立図書館	
関係行政機関	滋賀県教育委員会文化財保護課	(兼) 滋賀県立埋蔵文化財センター
関係行政機関	滋賀県立近代美術館	
関係地方公共団体	大津市	
観光関係団体	公益社団法人びわ湖大津観光協会	
商工関係団体	瀬田商工会	
関係活動団体	多目的広場 G G 協議会	大津GGA
関係活動団体	滋賀県立東大津高等学校	
関係活動団体	任意団体 森の風音	龍谷大学
関係活動団体	大津市瀬田東文化振興会	
指定管理者	びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ	
公園管理者	滋賀県都市計画課	